学校運営協議会 議事録

校名	大阪府立枚方支援学校
校長名	西村 誠三

開催日時	令和6年11月27日(水)15:20～16:50
開催場所	府立枚方支援学校 図書室
出席者(委員)	荒木会長、山内委員、中口委員(欠席)、吉田委員、中岡委員、宗本委員
出席者(学校)	西村校長、太田准校長、豊島教頭、佐藤教頭、奥村事務長、植木首席、筒井首席、長濱首席、中川首席、森脇指導教諭、松藤教諭
傍聴者	なし
協議資料	学校経営経営計画進捗状況学校教育自己診断について
備考	

議題等(次第順)

- ・校長あいさつ
- ・学校経営計画 進捗状況について
- ・学校教育自己診断について
- ・本日のまとめ
- ・准校長あいさつ

協議内容・承認事項等(意見の概要)

【学校経営計画 進捗状況】

- ・1人1台端末:1人に1つフォルダを割り当てる準備がある。保護者にも懇談等で触ってもらえる方法も考えている。
- ・シラバス作成の推進:学習指導要領、個別の支援指導計画、指導要録、など様々なことにこれまでも取り組んできた。これらを繋いでいくもの、子供たちがどんなふう成長して欲しいかを十分に反映されたものとして取り組んでいきたい。
- ・SNS、スマホのトラブルが増えている。また低年齢化している。対応、対策が必要。
- ・いじめに関する悩みを持つ子どももいる。固定化された人之間だけで解決せず、広く共有し学校全体で取り組みたい。
- ・枚方消防署との合同訓練があった。ご家庭から非常時の連絡訓練を呼びかけたが、反応は少ない。来年度は春の早い時期にしたい。

(質問)ネット環境がない場合どうするか →把握連絡が難しい。どうするのか検討する必要がある。

(質問)一般の避難所への対応が難しい児童生徒もいる。

→近隣の方から避難したい要望も過去にあった。今後支援学校の避難所としての役割について今後考える必要あり。

(ご意見等)枚方市が避難所名簿を活用・連携しては。またコロナ禍では別室対応もされていた。相談してはどうか。

- ・働き方改革:45h～80Hの残業がある職員は6割減

(質問)書類決済にかなり負担があるのでは→電子化を進め、かなり負担は減った。産業医面談も減少している。

- ・不登校の生徒も多い。心の揺れに寄り添いながら対応していく。
- ・高等部は進路指導に力を入れている。生徒の実態や希望に合わせた実習(美容院、保育園など)や卒業生による話を聞く機会も持っている。12月には北河内職業コースの作業交流会が本校主幹で行われる。企業が当初の予定を大きく超える9社参加して下さる。

(ご意見等)一般企業以外にも、A型B型またそれ以外にもたくさんの選択肢がある。A型の大きな職員解雇のニュースや、マッチングが上手くいかなかった時の不安などもある。学校のカも必要。

→事業所の見学会も例年以上に計画している。昨年よりもマッチングしやすい環境は提供できている。関心のある保護者は小中学部にも多く、参加者は多い。

(ご意見等)マッチングのケアを十分やっておられると感じる。就職より定着が大切と考える。

- ・バスについて (ご意見等)他校であったバスの事故を受け、PTAアンケートでもご意見あった。
- ・個人情報にいて(ご意見等)男児の海パン姿をブログに載せることも配慮する必要がある。

【学校教育自己診断】

- ・解答率を上げるため、質問項目を精選。過去5年肯定的な意見が続いているものを削除。昨年度解答率43%(前々年度、紙の場合は80%～90%)保護者来校行事の際にQRコードを設置し、回答できるようにする。
- (ご意見等)認知してもらえるようにすることが1番では。PTA交流会などの機会先生からお知らせをするのもいい。質問が難しいと答えづらい。簡単なやさしい文章の方が保護者にとっては答えやすい。

次回の会議日程

日時	令和7年2月18日(火)15:20～
会場	府立枚方支援学校 2階 会議室